

問1 律令制度のもと、都から地方へ行政命令が伝えられ、民衆に届くまでの仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2025年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 幕府から派遣された守護が、現地の役人である国司を指揮し、荘園領主を通じて民衆に命令を伝達した。 | 2. 地方豪族が都へ赴いて国司となり、天皇から直接受けた命令を、現地で採用された地頭を通じて民衆に伝達した。 | 3. 中央の役人である郡司が、各地方に置かれた国司に命令を伝え、そこから代官を通じて民衆に伝達された。 | 4. 中央から派遣された国司が、地方豪族から任命された郡司に命令を伝え、さらに里長などを通じて民衆に伝達された。 |
|--|--|---|--|

問2 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づいて発展した文化があります。この文化は、遣唐使によってもたらされた唐の進んだ制度や、シルクロードを経由した西アジアの文化の影響を強く受けているのが特徴です。この文化の名称と、その国際的な性格を象徴する施設についての説明として最も適切なものはどれですか。

(2023年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 飛鳥文化と呼ばれ、法隆寺の建築に見られるように中国や朝鮮半島の技術が取り入れられた。 | 2. 弘仁・貞観文化と呼ばれ、最澄や空海が伝えた密教の影響を受けた仏像が多く作られた。 | 3. 国風文化と呼ばれ、日本独自の美意識に基づいたかな文字や物語文学が発展した。 | 4. 天平文化と呼ばれ、正倉院にはペルシャ風の器物などの国際色豊かな宝物が納められた。 |
|---|---|--|---|

問3 聖武天皇が鎮護国家の思想に基づき、国の安泰を願って実施した具体的な政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2021年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 1. 藤原京から平城京への遷都と、律令の完成 | 2. 全国への国分寺・国分尼寺の建立と、東大寺での大仏造立 | 3. 遣唐使の派遣による唐の文化の導入と、仏教の禁止 | 4. 三世一身の法による土地私有の公認と、班田収授の徹底 |
|------------------------|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|

問4 奈良時代において、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた人物は誰ですか。また、その人物の遺品が納められ、国際色豊かな天平文化を今に伝える、奈良市に位置する正倉院との関わりが深い人物を次の中から選びなさい。

(2022年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 後三条天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 聖武天皇 |
|----------|---------|---------|---------|

問5 8世紀初めに、古くから伝わる神話や伝承を整理し、天皇による国内支配の正当性を示すことを目的として編纂された歴史書を選びなさい。

(2015年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 風土記 | 2. 古事記 | 3. 日本書紀 | 4. 万葉集 |
|--------|--------|---------|--------|

問6 奈良時代の文化を象徴する建造物の一つに、東大寺の正倉院がある。この建物にペルシャやインドの影響を受けた工芸品が多数納められている理由として、当時の日本の対外関係をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれか。

(2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 仏教の伝来とともに、百済（くだら）から多くの渡来人が工芸技術を直接日本へ伝えたため | 2. モンゴル帝国によるユーラシア大陸の統一により、陸路での貿易がかつてないほど活発になったため | 3. 遣唐使が、唐の都である長安に集まっていた西アジアや中央アジアの文物を日本に持ち帰ったため | 4. 日本独自の国風文化が広まり、海外との交流を断って国内の伝統工芸を保護したため |
|--|--|---|---|

問7 奈良時代、日本の僧からの要請を受け、遣唐使の船を利用して5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて来日した唐の僧侶は誰ですか。来日後は正式な仏教のルールである「戒律」を伝え、後に唐招提寺を建立しました。

(2026年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 鑑真 | 2. 行基 | 3. 最澄 | 4. 空海 |
|-------|-------|-------|-------|

問8 奈良時代の聖武天皇の時代、唐から鑑真を日本に招いた歴史的な背景と目的として、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 唐の最新の土木技術や灌漑技術を日本に導入し、全国的な社会インフラの整備を促進させるため | 2. 比叡山に延暦寺を建立し、新しい都である平安京の北東を守るための新しい仏教を広めるため | 3. 民衆の間で絶大な人気があったため、大仏造立のための資金や労働力を民衆から集めるリーダーにするため | 4. 僧侶が守るべき規律である「戒律」を導入することで、僧侶の資格を厳格化し、仏教による国家統制を整えるため |
|--|---|---|--|

問9 奈良時代の遺跡から発見された資料において、ある木の板に「産地・品目・送り主」の情報が記されていました。このような「木簡」と呼ばれる資料から読み取れる、当時の社会の様子や仕組みに関する説明として、背景や目的をふまえて最も適切なものを選びなさい。

(2024年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 租として徴収された米を海外へ輸出するために、港で積み荷を管理する台帳として木簡が利用されていた。 | 2. 律令国家の仕組みにより、各地の特産物を納める調や、労役の代わりに布などを納める庸が、全国から都へ集まっていた。 | 3. 仏教の教えを全国に広めるため、聖武天皇が各地の国分寺へ経典の内容を簡略化して記した木板を配布した。 | 4. 防人として九州へ派遣される農民が、自らの氏名や出身地を忘れないよう、政府が公式な身分証として配布していた。 |
|---|--|--|--|

問10 大宝律令が制定された当時の政治の仕組みについて、中央官制の特徴として正しい説明はどれですか。

(2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 幕府の最高役職として執権が置かれ、有力な御家人による合議制が行われた。 | 2. 三権分立に基づき、立法・行政・司法の各機関が完全に独立して設置された。 | 3. 地方を治めるために、中央から派遣された有力な武士が守護として各令制国を統治した。 | 4. 神事をつかさどる神祇官と、政治全般を統括する太政官の二官が置かれた。 |
|--|--|---|---------------------------------------|

問11 奈良時代の律令制度において、土地と民衆は国家のものであるという「公地公民」の原則に基づき、戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられた土地を何と呼びますか。

(2024年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 1. 佃 | 2. 口分田 | 3. 墾田 | 4. 名田 |
|------|--------|-------|-------|

問12 奈良時代には、遣唐使によって唐の文化だけでなく、西アジアやインドなどの文物が日本に伝えられました。聖武天皇ゆかりの品を収める正倉院の宝物には、インドを起源とし中国で製作された「螺鈿紫檀五絃琵琶」や、西アジア起源のガラス製品である「瑠璃環」などが含まれています。このような、当時の日本が世界各地の文化の影響を受けていたことを示す文化の特色を、どのように表現しますか。

(2023年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|------------------|-----------|-------------|
| 1. 仏教を排除する傾向 | 2. 武士の好みを反映した力強さ | 3. 国際的な性格 | 4. 日本独自の国風化 |
|--------------|------------------|-----------|-------------|

問13 古代の日本において、対馬や北九州の沿岸部に「防人」が配置された主な理由として、歴史的背景をふまえて最も適切なものはどれですか。

(2017年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 白村江の戦いで敗北後、唐や新羅の侵攻に備えるため | 2. 蝦夷（えみし）と呼ばれる東北地方の人々の反乱を抑えるため | 3. 種子島に伝来した鉄砲の技術が外部へ流出するのを防ぐため | 4. 元寇によるモンゴル帝国の襲来を未然に防ぐため |
|-----------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------|